



## 2020年度活動報告 CJP授業 : 聴解5-8

著者	西村 由美
雑誌名	関西学院大学日本語教育センター紀要
号	10
ページ	43-43
発行年	2021-03-31
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10236/00029340">http://hdl.handle.net/10236/00029340</a>

## 2020 年度活動報告 CJP 授業：聴解 5－8

西村 由美（関西学院大学日本語教育センター）

### 1. クラス概要

本授業は上級レベルの学習者を対象とした週 1 コマの選択科目で、Zoom を使った同時双方向型で行った。目標は、1) 様々な専門分野の講義などの内容がある程度理解できるようになる、2) 聞いた内容について説明し、話し合いができるようになるである。様々な話者の音声の聞き取りに慣れること、視覚情報も活用して内容を理解することを目指して、次のような 5 つの異なるタイプの教材を取り入れている。①学習用に作成された動画<sup>1</sup>、②パワーポイントと音声、③パワーポイントの前で講師が説明する動画<sup>2</sup>、④Zoom 内での LA 学生の発表、⑤当校の学部の講義を収録した動画。

### 2. 授業内容

今学期は、授業活動の方法をオンライン向けに変更した。教材①では、Zoom のブレイクアウト機能を使ってグループに分かれ、各グループ 2 名の発表担当者が自分で選んだ動画の内容を事前に作成したキーワードシートを見せながら説明する。聞き手はどちらか一つを選んで、各自動画を視聴し、LUNA の掲示板にその内容についてコメントをする。教材②、③は全員で視聴した後に、各自内容確認クイズに答えたり、同時編集可能なシートにコメントを書いたりした。また、グループに分かれてそのテーマについて話し合いを行った。④もグループ活動で、LA として参加した学生が、これまでに受けた講義の内容を発表し、質疑応答を行った。⑤では、予習して講義に臨むことを想定し、教科書の該当部分を宿題として読み、授業では講義の視聴後に、内容理解を確認する筆記式クイズを行った。学期後半には、お気に入りの動画を紹介する活動も行った。

### 3. 成果と今後の課題

グループ・個別の活動後に意見やコメントを掲示板や共有シートに書いてもらったため、全体での確認や話し合いがしやすくなった。また、ブレイクアウトセッションでは、小さなグループで集中して話し合いができるようだった。その一方で、教室のように全体を見守ることができないため、必要に応じて複数のデバイスで Zoom に入り、各グループに割り当てた。オンラインでのグループ活動については引き続き検討したい。

<sup>1</sup> NHK for school : 学校向け教材動画アーカイブ。 <http://www.nhk.or.jp/school/>

<sup>2</sup> ②③ともに東京外国語大学留学生日本語教育センター 編著、(2015)『留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解 上級』、同シリーズ(2019)『動画で学ぶ大学の講義』スリーエーネットワーク